事業部マニュアル①

2020年9月作成

年間行事

 4月 精度管理委員会会議（学術部＆部門長会議と同時に実施）（年間計画作成）

　　　熊本県精度管理調査是正報告確認書を返却→末まで

　　　日本赤十字社献血血液公募（譲渡血）から送付→定期・終了・中止・中断報告書提出

 5月 熊本県精度管理専門委員会会議（熊本県医師会）

 7月 精度保証研修会（7月末か8月初旬）　　※会費：1,000円

　　→抄録集作成→　抄録集作成継続の検討（WEBからダウンロードを検討）

　　　九州ロット作成（毎年九州各県から出動する：作成場所は持ち回り制）→中旬

 8月 輸血実施講習会（譲渡血注文する）→20日前後

10月 熊本県精度管理調査→10月20日前後

 　　譲渡血継続申請（メールで連絡あり：日本赤十字社に申請）→10月末〆切

12月 臨床検査講習会→12月初旬の土or日　※会費：1,000円

 2月 臨床検査精度管理調査報告→１月末か2月初日曜：熊本県医師会会館→抄録集作成

 ３月 臨床検査精度管理調査是正〆切→3月末〆切、捺印完了後4月末まで返却

　　　熊本県医師会に資料や請求金額の提出　→別紙あり

* 総合部門と共同：標準化サーベイ、熊本県精度管理調査
* ニュース版掲載は２ヶ月前から→富田理事
* HP掲載→富田理事
* 依頼文書（当人、施設長など）は3〜4週間前まで→野中理事
* 熊本県医師会にも連絡する→竹原さん／川上さん
* 熊本県臨床検査精度管理調査＆報告会は別紙マニュアルある

事業別に分類

1. 年間計画
* 4月中旬：精度管理委員会（部門長会議合同）年間計画（案）を確認
* 5月　　：熊本県医師会：熊本県精度管理専門委員会会議→前年度活動報告など（次第）

→参考試料あり。

1. 熊本県臨床精度管理調査＆報告会　※参加費：医師会口座　※申込：WEB
* 4月：前年度是正報告書返却
* 4月：譲渡血定期・終了・中止・中断報告書提出と契約
* ７月：8月号ニュース版＆HPに案内 掲載①
* 7月中：生化学部門にGA濃度（譲渡血）確認

 生化学/血液/輸血部門に使譲渡血確認（使用日と種類、量など）

　　　　フォトサーベイ依頼（8月末〆切）

* 8月：9月号ニュース版＆HPに案内 掲載②
* 8月：熊本県医師会（竹原さん）に精度管理案内書を提出し、医師会会員に案内配布依頼
* 8月中：日本赤十字社に譲渡血依頼（血液、生化学、輸血）
* 8月〜9月末：WEB申込
* 8月末：フォトサーベイ〆切
* 9月
* フォトサーベイ掲載を担当者に確認してもらう。（上島さん共同）
* 消耗品準備（試料を入れる袋、各部門で使用する容器など）

→試料を入れる袋はハンズマンで購入

　　　A-4：生化学試料（Q113，Q313）、C-4：血清項目とHbA1c、D-4：輸血

　　　F-4：尿一般

* 約1ヶ月前に宅配便業者へ予約連絡、「熊本県臨床検査技師会」と記載された伝票を事前にもらう

　　→毎年約30施設郵送

　　→当日までに伝票に郵送施設名など記載する

* 約1ヶ月前にドライアイスの予約注文

→発注先：内村酸素　嘉島事業所：096-237-2525

　発注量：1Kg：210円を160個注文

* 当日参加する技師＆施設長および熊大医師＆看護師＆施設長へ依頼文送付
* 5社卸へ依頼文（郵送用BOXも依頼する）、試料配達可能施設の確認

→試料配布可能施設を確認後、当日卸毎に配布施設を分けた表を渡す

* 各部門長に申込み数とエクセル表を渡す→申込み締め切り終了後
* 容器に添付するシールを作成し試料作成前または当日作成時各部門に渡す（尿一般、輸血、血液生化学）

→ラベル屋さんで作成

* 封筒に貼る施設シール、受領書作成，→当日まで

→ラベル屋さんで作成

* 技師会封筒を準備（受領書などを入れる封筒）→当日まで
* 精度管理調査報告会での特別講演演者の選定＆決定（11月まで）
* 10月：熊本県臨床検査精度管理調査実開始
* 当日準備
* 輸血医師&看護師に謝金支払い
* 技師：当日行動費支払い
* 封筒に施設名のシールを貼り、受領書や必要資料を入れる
* 3時になったら卸に必要数の配布試料をとってもらう
* 宅配回収時間（例年4時前後）までに郵送用試料も卸に作成してもらう

→冷蔵、冷凍（ドライアイス入れる）は別々に入れる

* WEB入力〆切
* 11月：熊本県臨床精度管理調査報告会（２月初旬か１月末の土日のいずれか）
* プログラム作成（熊本県医師会にも連絡＆会員配布依頼）
* 特別講演演者を決定しておく
* 各部門長および熊本保健科学大学：池田先生、正木先生に開催連絡
* 12月号ニュース版＆HP掲載①
* 12月：解析グラフを上島さんが各部門長に送付
* 1月
* 発表者＆施設長に依頼文作成＆送付
* 1月号ニュース版掲載②
* 1月中旬：抄録集に掲載するスライドをもらう　（上島さん共同）
* 2月：報告会開催
* 解析代など各部門に支払う
* 卸に精度管理配達代支払う
* 3月末：是正報告書提出〆切
* 4月：是正報告書に精度管理専門委員長の捺印もらい、施設に返送（郵送）する
1. 精度保証研修会（7月末8月初旬開催）　※参加費：1,000円（領収書作成する）
* 4月
* プログラム作成
* 会場予約
* 5月
* 6月号ニュース版&HP掲載①
* 抄録集広告募集をメーカーに提出→　今後依頼メーカーを検討する必要がある
* 演者や講師に抄録の〆切期限を伝える
* 6月
* ニュース版掲載②
* 講師、部門長に依頼文
* 抄録作成→　抄録集作成継続の検討（WEBからダウンロードを検討）

　　→白木メディアに1ヶ月前までに依頼

* 7月：精度保証研修会開催
* 抄録作成完了
1. 臨床検査講習会（12月上旬開催）　※参加費：1,000円と申込先は医師会担当
* 9月中旬：プログラム完成し熊本県医師会にも連絡、配布依頼する
* 9月：10月号ニュース版＆HP掲載①
* 10月：11月号ニュース版掲載②
* 11月：講師依頼文作成し送付
1. 標準化サーベイ
* 4月、6月、8月、2月試料配布
* HPに年間計画と配布前に掲載（上島さん共同）
1. 日本赤十字社譲渡血関連（メールにて送付される）
* 4月：譲渡血定期・終了・中止・中断報告書提出
* 10月：継続申請
1. 熊本県医師会に医師会共同事業にかかった費用を請求
* 2月中：医師会共同事業全額請求
* 九州ロット試料、システム改修費、精度管理消耗品、謝金、標準化サーベイ解析代など

月別に分類

４月

* 精度管理会議（学術部＆部門長会議と同時に実施）（４月開催）
* 年間プログラム作成
* 保健科学大学：池田先生と正木先生に精度管理調査報告開催日メール連絡
* 精度保証研修会（7月末開催）
* プログラム作成
* 会場予約
* 熊本県医師会
* 精度管理専門委員会会議（1〜2回/年）
* 事前に次第を作成し、担当：竹原さんに渡す（竹原さんから前年度の次第が送付される）
* 標準化サーベイ①（旧ロット使用）（上島さん共同）
* 案内をHPに掲載
* 試料配布

5月

* 精度保証研修会
* ニュース版&HP掲載①
* 抄録集広告募集をメーカーに提出
* 演者や講師に抄録の〆切期限を伝える

6月

* 精度保証研修会
* ニュース版掲載②
* 講師、部門長に依頼文
* 抄録作成
* 輸血実技講習会譲渡血内容確認
* 輸血実技講習会（7月実施）の譲渡血注文→輸血部門から依頼がある
* 標準化サーベイ②（旧ロット使用）（上島さん共同）
* 案内をHPに掲載
* 試料配布

7月

* 精度保証研修会開催
* 抄録作成
* 九州ロット作成→担当者から熊臨技に連絡ある
* 生化学部門長に依頼
* 熊本県臨床検査精度管理調査
* 関連部門に譲渡血発注内容確認する（末まで）
* プログラム作成→熊本県医師会にも連絡
* ニュース版掲載＆HP掲載①
* フォトサーベイ依頼（上島さんと協力）

→〆切は8月末まで

8月

* 熊本県臨床検査精度管理調査
* 譲渡血注文（毎年輸血は早めに作成される）

→輸血部門に譲渡血到日要望を聞きその日程に合わせて発注する

* ニュース版掲載②
* フォトサーベイ〆切（８月末）
* 九州ロット注文（福臨技から注文票届く）→例年850セット注文
* 標準化サーベイ③（旧ロット使用）（上島さん）
* 案内をHPに掲載
* 試料配布

９月

* 熊本県臨床検査精度管理調査＆報告会
* フォトサーベイ掲載を担当者に確認してもらう。（上島さん共同）
* 消耗品準備（袋：精度管理箱確認や各部門で使用する容器など）
* 約1ヶ月前に宅配便業者へ予約連絡、「熊本県臨床検査技師会」と記載された伝票を事前にもらう

→毎年約30施設郵送

　　→当日までに伝票に郵送施設名など記載する

* 約1ヶ月前にドライアイスの予約注文

　　　　→発注先：内村酸素　嘉島事業所：096-237-2525

　発注量：1Kg：210円を160個注文

* 当日参加する技師＆施設長および熊大医師＆看護師＆施設長へ依頼文送付
* 5社卸へ依頼文（郵送用BOXも依頼する）、試料配達可能施設の確認

→試料配布可能施設を確認後、当日卸毎に配布施設を分けた表を渡す

* 各部門長に申込み数とエクセル表を渡す→申込み締め切り終了後
* 容器に添付するシールを作成し試料作成前または当日作成時各部門に渡す（尿一般、輸血、血液生化学）

　→ラベル屋さんで作成

* 封筒に貼る施設シール、受領書作成，→当日まで

　　→→ラベル屋さんで作成

* 技師会封筒を準備（受領書などを入れる封筒）→当日まで
* 精度管理調査報告会の特別講演演者を決定しておく（11月まで）
* 臨床検査講習会（12月開催）
* プログラム作成
* 熊本県医師会に報告し許可をもらう
* 10月号ニュース版＆HP上に掲載①
* 依頼文作成する

10月

* 熊本県臨床検査精度管理調査実開始
* 当日準備
* 輸血医師&看護師に謝金支払い
* 技師：当日行動費支払い
* 封筒に施設名のシールを貼り、受領書や必要資料を入れる
* 3時になったら卸に必要数の配布試料をとってもらう
* 宅配回収時間までに郵送用試料も卸に作成してもらう

→冷蔵、冷凍（ドライアイス入れる）は別々に入れる

* 臨床検査講習会
* 11月号ニュース版②

11月

* 臨床検査講習会
* 講師依頼文作成し送付
* 熊本県精度管理調査報告会（２月初旬か１月末の土日のいずれか）
* 各部門長および熊本保健科学大学：池田先生、正木先生に開催連絡
* プログラム作成（熊本県医師会にも連絡すること）
* 特別講演演者を決定しておく
* ニュース版掲載①

12月

* 臨床検査講習会開催
* 熊本県医師会：参加費など徴収する
* 熊本県精度管理調査報告会
* ニュース版掲載①
* 解析グラフを上島さんが各部門長に送付

1月

* 熊本県精度管理調査報告会
* 発表者＆施設長に依頼文作成＆送付
* 抄録集に掲載するスライドをもらう　→1月中旬までにもらう（上島さん共同）
* 抄録集依頼　　（上島さん共同）

２月

* 熊本県精度管理調査報告会開催
* 発表者や各部門に精度管理事前準備＆解析代など支払う
* ５社卸に謝金支払う（２万円づつ）
* 標準化サーベーイ④（新ロット）
* HP掲載
* 試料配布
* 医師会に請求金額を提出する→出来るだけ早く
* 事業部会計を〆める

３月

* 熊本県臨床検査精度管理調調査
* 是正報告書〆切
* 是正報告書にサインし精度管理専門委員長から捺印もらい、郵送にて返却する

→郵送返却は4月末まで

* 来年度計画案を作成
* 熊本県医師会に今年度の資料を渡す